



# J R連合 NEWS

JRに集う  
すべての仲間の  
JR連合への  
総結集を！！

No. 75

2020年1月27日

日本鉄道労働組合連合会

J R西労組「安全を誓い前進を期する集い」

## 福知山線列車事故から15年 あらためて安全確立の誓いを胸に刻んで

J R西労組は、1月8日、大阪市内で「2020年安全を誓い前進を期する集い」を開催した。

連合大阪、近畿交運労協などの友誼団体等をはじめ、J R連合国会議員懇談会副会長の泉健太衆議院議員、J R西労組地方議員団、さらには昨年の参議院選挙で支援した森屋たかし参議院議員も来賓に迎えるとともに、同じく支援した浜野喜史参議院議員からはビデオメッセージが届いた。会場は、各地本・総支部の組合員の他、J R西日本連合のグループ労組組合員など総勢300人で埋めつくされ、参加者全員で新しい年を迎えるにあたってあらためて安全確立とJ R西労組の躍進を誓い合った。



上村良成中央執行委員長は挨拶で、「福知山線列車事故からまもなく15年となる、反省と教訓のうえに今一度安全確立の誓いを胸に刻んでいく。事故後入社の社員・組合員も半数を超えることからDVD教材を活用して事故を伝え教訓化することにも取り組む。また『J R西日本連合・J R西労組安全提言（改訂版）』を策定し、鉄道安全考動計画2022の実効性を高めていく。働く仲間が互いに確認し合うことを徹底し、J R西日本グループ全体の安全確立を基礎に位置付けてすべての運動を進めていく」との決意を述べた。さらには、人手不足に立ち向かい働く者の視点で真の働き方改革を進めていくこと、地域共生と活性化に取り組む決意も語られた。

来賓として挨拶したJ R西日本の長谷川一明社長は、J R西労組との労使関係の重要性について触れ、J R西労組としっかり議論し、社員・会社・グループ全体の発展をめざすことや、会社として人手不足の対応に力を入れていくこと、そして地域との連携にも取り組むとの認識を述べた。